

第 8 号様式と異なります
のでご注意ください。

観光バスバリアフリー化支援補助金交付申請額算出内訳

（ 1 ）観光バス車両のバリアフリー化に係る経費

（単位：円）

番号	導入車両（型式） （車両番号）	補助対象車両購入価格 （税抜） A	通常車両見積価格（税抜） B	補助対象経費 C=A-B	補助限度額 D	補助金交付申請額 E=CとDを比較して どちらか少ない額	国等の補助		
							交付の有無 F	補助金の名称	
1	〇〇大型バス 〇列（ABC-D EF-G リフト付き） （123-456-789）	45,000,000	42,000,000	3,000,000	10,000,000	3,000,000	有	無	令和 3 年度〇〇省バス補助金
	（ ）	見積書の型式と合わせてください。			10,000,000		有	無	
	（ ）				10,000,000				
	（ ）								
合計	1 台					3,000,000			

（ 2 ）感染症拡大防止対策に係る経費

（単位：円）

番号	導入車両（型式） （車両番号）	総事業費（税込み） A'	補助対象経費（税抜き） B'	補助金申請額 C'	補助限度額 D'	補助金交付申請額 E'=C'とD'を比較して どちらか少ない額	国等の補助		
							交付の有無 F'	補助金の名称	
1	〇〇大型バス 〇列（ABC-D EF-G リフト付き） （123-456-789）	1,760,000	1,600,000	800,000	1,000,000	800,000	有	無	令和 3 年度〇〇省バス補助金
	（ ）	見積書の型式と合わせてください。			1,000,000		有	無	
	（ ）				1,000,000				
	（ ）				1,000,000				
合計	1 台					800,000			

注 1 乗降用装置を新たに架装する場合、要した経費は A 欄に記載し、B 欄の記入は不要

注 2 E 欄及び E' 欄の額に 1 0 0 0 円未満の端数が生じた場合は、切り捨てること。

注 3 F 欄及び F' 欄には国等の補助の交付の有無を○で囲み、補助金の名称を記入すること。

なお、国等の補助金交付がある場合は、交付決定の写しを添付すること。

補助金交付申請額計 （E+E'の合計額）
3,800,000

〔財団記入欄〕

第8号様式と異なります
のでご注意ください。

No. 1

単位：円、税抜

交付申請者名		株式会社 バス・トウキョウ		
車両名・型式	(補助対象車両)	〇〇大型バス・ABC-DEF-G リフト付き		
	(通常車両)	〇〇大型バス・ABC-DEF-G 標準車		
		金 額 (補助対象車両)	金 額 (通常車両)	備 考
車両本体価格 (a)		39,950,000	37,000,000	
補助対象外オプション (b)		5,000,000	5,000,000	
小 計 (c)		44,950,000	42,000,000	
乗降用リフト装置及び付属装備等 (d)	No	名 称		
	1-①	乗降用リフト装置		車両本体に含む
	1-②	車内車いすスペース		車両本体に含む
	1-③	車いす固定装置		車両本体に含む
	1-④	車いす固定装置格納箱		車両本体に含む
	2-②	床レール取り付け	0	車両本体に含む
	2-⑩	リフト照射灯	50,000	
小 計 (e)		50,000	0	
合 計 (f)		45,000,000	42,000,000	

補助対象車両が複数ある場合、別紙1の番号と一致するようにご記入ください。

全て税抜の金額でご記入ください。
数が多く入りきらない場合、2枚に分けてご記入をお願いします。
車両本体標準装備の場合は備考欄に「車両本体価格に含む」とご記入をお願いします。

要領の別表1、2の番号に対応するよう、別表1は「1-」、別表2は「2-」の後に番号をご記入ください。

見積書の名称に合わせてください。

- ※1 乗降用リフト装置及び付属装備等の範囲は、観光バスバリアフリー化支援補助金交付要領の別表1及び別表2による。
- ※2 各付属装備等は、別表2にある機器別の番号を付して記載する。また、標準仕様である場合や車両本体価格に含まれる場合は、備考欄にその旨を記載し、小計(e)から控除する。
- ※3 車両メーカーが作成した補助対象車両及び通常車両の見積書を添付すること。
- ※4 乗降用リフト装置の架装に要する経費が明らかな場合は、a～c欄の記入は不要。
- ※5 観光バス車両のバリアフリー化に係る経費についてのみ記載する。

第8号様式と異なります
のでご注意ください。

観光バスバリアフリー化支援補助対象車両の貸与状況

貸与期間は、減価償却
資産の耐用年数以上とし
てください。

賃貸料が有償となる場合
には別紙3-2もご提出
をお願いします。

記入例

番号	貸与を受ける者	車両名・型式	車両数	貸与期間	賃貸料の有無	備 考
1	株式会社 都庁観光	〇〇大型バス ABC-DEF-G リフト付き	1	〇年〇月〇日～〇年〇月〇日	有償・無償	
				年 月 日～ 年 月 日	有償・無償	
				年 月 日～ 年 月 日	有償・無償	
				年 月 日～ 年 月 日	有償・無償	
合 計			1			

補助対象車両が複数あ
る場合、別紙1の番号と
一致するようにご記入く
ださい。

貸与を受ける事業者の提出資
料については手引をご参照く
ださい。

注1 貸与を受ける者は、道路運送法の規定に基づく一般乗合旅客自動車運送事業（路線定期運行を行う者に限る。）又は一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受け、都内で事業を営む者とする。

注2 賃貸料が有償となる場合には、別紙2により賃貸料の算定根拠を添付すること。なお、賃貸料の基礎となるバス車両価格は、都等の補助金を差し引いた額をもとに算出した額であること。

第8号様式と異なります
のでご注意ください。

貸与料金の算定根拠明細書

車両毎に作成をお願いします。

車両名： ○○大型バス
型式： ABC-DEF-G リフト付き
登録番号： 123-456-789
貸与先： 株式会社 都庁観光
貸与期間： ○年 ○月 ○日 ～ ○年 ○月 ○日
貸与月数： か月

通常料金欄には、補助金を受けない場合のリース料金の算定を記載してください。

単位：円、税抜

項目	通常料金	補助金適用料金(本件)	備考
車両価格(A)			
補助金(B)			
小計(C) (A)-(B)			
諸税等(D)			
金利等(E)			
小計(F) (D)+(E)			
残存価格(G)			
合計(H) (C)+(F)+(G)			
リース料月額(I)			

補助金適用料金(本件)の小計(C)は、車両価格から補助金を引いた金額とします。

リース月額が異なる場合、行を追加し、すべての料金と期間をご記入ください。

※ リース料月額が異なる場合、すべての料金と支払期間を記載すること